

平成22年5月10日  
東北地方整備局  
東北地方環境事務所  
福島市

## 「水環境を考えるシンポジウム」を開催します ～6月2日（水）福島ビューホテル～

昨年8月に「東北圏広域地方計画」が策定され、施策の推進にあたり、東北圏の特徴である豊かな自然環境を如何に保全するか、地球規模で環境問題が顕在化する中において、豊富な自然資源と共生する社会の構築が求められています。

また、今年10月には自然環境と関わりのある生物多様性の保全の国際的取組を話し合う「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」が名古屋市で開催されます。

このような背景の中で、福島県内では、多くの団体により、水環境の保全に向けた様々な取組が行われていることから、今回、水環境と生物多様性を考える場として本シンポジウムを開催し、東北圏域に広く発信して「東北圏広域地方計画」の推進の一助とするものです。

### ◆ 開催概要 ◆

○開催日時：平成22年6月2日（水）13：30～17：00

○開催場所：福島ビューホテル 3F「吾妻」  
福島市太田町13-73

○開催内容：

■ 基調講演

「生きものの個性とつながりを意識した水環境の保全」

つつみ ただあき  
塘 忠 顕 氏 （福島大学 准教授）

■ パネルディスカッション

テーマ：「豊かな水環境・生物多様性の保全のために」

※ 入場は無料となっておりますが、FAXもしくはEメールによる事前申し込みが必要となります。（詳細については、別添チラシをご覧ください。記者の方は特段事前申し込みは不要です。）

■ 申込先：阿武隈川サミット実行委員会事務局（福島市河川課内）  
東北地方整備局福島河川国道事務所計画課

■ 申し込み期限：平成22年5月20日（木）まで

〈発表記者会〉：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ、宮城県政記者会、新潟県政記者クラブ、新県政記者クラブ、東北電力記者会、東北専門記者会

### 問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局	
東北圏広域地方計画推進室	022-225-2171（代表）
企画部企画課 建設専門官	こんの ひろみ 今野 裕美（内線3156）
環境省 東北地方環境事務所	022-722-2873
環境対策課 課長補佐	しらすこ まさし 白迫 正志
福島市	024-535-1111（代表）
建設部河川課 課長補佐兼河川企画係長	すごう なおや 菅生 直也（内線4152）

●「水環境を考えるシンポジウム」

# 豊かな自然と 共生する社会を 目指して

～水環境の保全と生物多様性～

**日時** 平成22年**6月2日(水)** 13時30分～17時00分  
(開場13時00分)

**場所** 福島ビューホテル3F「吾妻」  
(福島市太田町13-73)

● 基調講演

テーマ「生きものの個性とつながりを意識した水環境の保全」

つつみ ただあき  
塘 忠顕 氏 福島大学准教授

● パネルディスカッション

◆ 活動事例報告

- ①古川を美しくする会(伊達市)
- ②逢瀬川ふれあい通り実行委員会(郡山市)
- ③須賀川に清流を取り戻す市民の会(須賀川市)
- ④ふるさとの川・荒川づくり協議会(福島市)

◆ パネルディスカッション

テーマ「豊かな水環境・生物多様性の保全のために」

- コーディネーター つつみ ただあき 塘 忠顕 氏 福島大学准教授
- パネリスト せと たかのり 瀬戸 孝則 氏 福島市長  
阿武隈川サミット実行委員会委員長
- あおやま としゆき 青山 俊行 氏 東北地方整備局長
- こばやし かおる 小林 香 氏 東北地方環境事務所長

● ポスターセッション同時開催

お問合せ先

**東北圏広域地方計画推進室** TEL.022-213-8067(直通)  
**東北地方環境事務所** TEL.022-722-2873(直通)

主催 東北圏広域地方計画協議会(東北地方整備局、東北地方環境事務所、福島県)、阿武隈川サミット実行委員会  
共催 福島民報社、(社)東北建設協会  
後援 東奥日報社、岩手日報社、河北新報社、秋田魁新報社、山形新聞・山形放送、福島民友新聞社、新潟日報社、  
日刊建設工業新聞社東北支社、日刊建設産業新聞社東北支社、日刊建設通信新聞社東北支社、建設新聞社、  
観光経済新聞社、NHK福島放送局、福島テレビ、テレビユー福島、福島中央テレビ、福島放送、  
(財)東北開発研究センター、(財)東北産業活性化センター、東北観光推進機構



**入場無料**  
**定員300名**

参加の申し込みが必要です。  
詳しくは裏面を  
ご覧下さい。



●新幹線でお越しの方東北新幹線福島駅西口正面  
東京より約1時間45分 仙台より約30分

## ●「水環境を考えるシンポジウム」

# 豊かな自然と共生する社会を目指して

## ～水環境の保全と生物多様性～

昨年8月に「東北圏広域地方計画」が策定され、施策の推進が求められています。特に、東北圏の特徴である豊かな自然環境を如何に保全するか、地球規模で環境問題が顕在化する中において、豊富な自然資源と共生する社会の構築が求められています。

本計画では「恵み豊かな自然と共生する環境先進圏域の実現」を戦略的目標に掲げ、「美しい四季に彩られる森林や田園、川や海辺の保全と継承」の中で「豊かな水環境の保全、再生」等の施策を推進することとしています。

また、水環境の保全は生物多様性の保全と密接な関わりを持っていますが、その生物多様性の保全や持続可能な利用を目的とする「生物多様性条約」の第10回締約国会議(COP10)が、本年10月に日本(愛知県名古屋市)で開催されることなど、水環境の保全に対する意識は高まっています。

その中で、福島県内では多くの団体が水環境の保全に向けた様々な取組が行われていることから、水環境を考える場としてシンポジウムを開催し、東北圏域に広く発信し、「東北圏広域地方計画」の推進の一助とするものです。

## ● 基調講演



つつみ ただあき  
塘 忠顕氏  
福島大学准教授

### ●テーマ 「生きものの個性とつながりを意識した水環境の保全」

#### プロフィール

名古屋市出身。筑波大学大学院博士課程生物科学研究科を修了後、筑波大学生物科学系助手、福島大学教育学部助教授を経て現職。理学博士。これまで、水生生物、水環境保全、生物と環境との関わり等についての講演を多数行っている。

## ◆活動事例報告

古川を美しくする会

菅野 幸雄 氏

逢瀬川ふれあい通り実行委員会

長尾 トモ子 氏

須賀川に清流を取り戻す市民の会

高橋 恒雄 氏

ふるさとの川・荒川づくり協議会

斎藤 忠雄 氏

## ● パネルディスカッション

### ●テーマ 「豊かな水環境・生物多様性の保全のために」

#### コーディネーター

つつみ ただあき  
塘 忠顕氏  
福島大学准教授

#### パネリスト



せ と たかのり  
瀬戸 孝則氏  
福島市長  
阿武隈川サミット  
実行委員会委員長

平成13年12月から福島市長就任、現在3期目。東北直轄河川治水期成同盟会連合会会長、ふるさとの川整備事業認定自治体協議会会長などの役職に就く。

#### パネリスト



あおやま としゆき  
青山 俊行氏  
東北地方整備局長

昭和52年4月建設省採用以降河川畑を歩み、千葉県県土整備部長への出向後、河川局治水課長を経て、平成21年7月から現職。

#### パネリスト



こばやし かおる  
小林 香氏  
東北地方  
環境事務所長

昭和63年4月大蔵省採用、平成14年7月から環境省地球環境局、総合環境政策局等を歩み、地球環境局環境協力室長を経て、平成21年7月から現職。

## ● ポスターセッション 福島県内で水環境の保全に取り組む団体のポスターセッションを同会場にて実施します。

### 参加申し込み方法

5月20日(木)までに、必須事項を記入の上、FAXもしくはEメールで下記窓口までお申し込み下さい。なお、参加希望者多数の場合は、定員になり次第締め切らせていただきます。

#### 参加申し込み必須事項

個人名・法人名	参加人数	名
担当者名(法人の場合)	電話番号	- -

●ファックスの方は、上記枠内に必要事項を記入し、この用紙のまま下記の番号までお送り下さい。●Eメールの方は、メール本文に上記必要事項を記載し、下記のアドレスまで送信下さい。

### 申込先

阿武隈川サミット実行委員会事務局(福島市河川課内)行

FAX.024-536-3271 Eメール post@abutan.jp

東北地方整備局福島河川国道事務所計画課行

FAX.024-545-5470 Eメール mizukan0602@thr.mlit.go.jp